
苦難来ずして、平和来ずっ!?

刹那

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

苦難来ずして、平和来ずっ!?

【Nコード】

N4393I

【作者名】

刹那

【あらすじ】

師匠のダラスと弟子のルカ。

二人は毎日をのんびりと過ごしていた。

しかし、ある依頼を受けたが為に、二人は苦難の日々へと足を踏み入れる……

果たして、二人に平和な日々は戻ってくるのだろうか……

プロローグ

「プロローグ」

雲一つない青空。

緑の絨毯が広がっている。

「お師匠様ー、何処ですかー？」

黒髪に黒目の小柄な少年が、小走りで辺りをキョロキョロと見回している。

その声に反応するように、緑の絨毯が風に揺れた。

「その呼び方やめろって言ってんだろーが」

「そんな所にいらっしやっただんですね、お師匠様」

「……話し聞けよ」

緑の絨毯の中に、大きな石がある。

そこに一人の青年が座っていた。

緑の絨毯とは似ても似つかない銀色の髪を、乱暴にガシガシと掻きながら嫌そうな顔で青年、ダラスは黒髪の少年、ルカに言葉を投

げだが、全く伝わっていないようだ。

ダラスは面倒臭そうに重い腰を上げた。

「で？ 何か用か？」

「用か？ じゃないですよっ！ もう依頼人さん来てるんですよっ！」

「ん？ 依頼人？ ああ、今日だったか？」

惚けた顔で空を仰ぐダラスに、ルカは大きなため息を吐いた。

そんなルカをよそに、ダラスは大きな欠伸をしてみせる。

「さあ、急いで下さい」

「面倒だな……。話しくらいならお前だけでもいけるだろうっ？」

大きく伸びをしながら言うダラスに、ルカが口を開く。

「そんなわがまま言わないで下さい、お師匠様。それに、女性を待たせるのは、男のする事ではありません」

ルカの何気なく言った一言に、ダラスの眉がピクリと動いた。

「馬鹿者、それを先に言えっ！ 女性を待たせるのは良くないな、うん。さあ、ルカ、トロトロするな、置いてくぞ」

先程までの適当なダラスは何処へやら、目を点にしたルカを置い

て、さっさと歩いて行ってしまおう。

「お、お師匠様ー、ま、待って下さいよーっ！」

躓きそうになりながらも、ルカは先へ先へと進む師匠を追い掛けて走る。

これが、師匠のダラスとその弟子である、ルカの苦悩と苦勞の日々々の幕開けだとは、誰も知る由はなかった。

く続く

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4393i/>

苦難来ずして、平和来ずっ!?

2011年1月19日12時35分発行